



美の国と童っ子の雪まつりで田中孝さん、真理子さん、来実ちゃん(将軍野向山)

### 馬を見て大はしゃぎ!

大人と子どもの冬祭りが同時開催というので、初めて家族で遊びにきました。子どもは馬そりを見て大はしゃぎ。そのかわいらしい姿を眺めながら、かも鍋におしるこ、秋田の地酒を楽しみました。名物の冬祭りとして、もっとPRしてもいいかも。

### 親子で参加してね

子育て中のお母さんたちのストレス解消のため、民生委員のかたにも協力してもらいながら、山王ちびっこのつどいを開いています。歌をうたったり、公園で遊んだり、親子で楽しく交流しています。お母さんたちの参加をお待ちしています。



主任児童委員の福岡万紀子さん(中央)、杉原敬子さん(右)、伊藤妙子さん

### 買い物の目安にご活用を

アトリオン5階の県生活センター展示ホールでは、さまざまなリサイクル製品を紹介しています。再生製品をうまく使っていないと、リサイクル社会は循環しません。4月からのペットボトル分別収集を機会に、そんな関心も高めてください。



リサイクル製品の使用をPRする県生活センターの松尾無子さん



# ひと

ラーメンづくりのボランティア活動をしている  
秋元靖雄さん

仁井田で中華料理店を経営している秋元靖雄さん(54歳)は、市内の福祉授産所や小規模作業所にお店ごと出前する出張ラーメン屋さんのボランティア活動を行っています。「特技を生かして何かボランティア活動ができないかと考えたのがきっかけ。施設におじゃましてお店のラーメンを食べてもらって、かれこれ七、八年になりますね」と、秋元さん。現在は、毎月第三水曜日をボランティアの日と決め、十か所ほどを月替わりで訪ねています。今月十七日は、保戸野福祉授産所を訪問。麺やスープ、ドングリのほか、大きな鍋やガスコンロも持ち込んで、お昼には十六人分のしょうゆラーメンがテーブルに並びました。一緒にふうふう言いながら食べるラーメンに、自然と笑顔がこぼれる授産所のみなさん。職員の工藤若子さんは、「ラーメンをこちそうしてくださいるほか、お話したり、一緒に花壇の草取りをしたり、秋元さんが来る日をみんな楽しみにしています」。秋元さんは、「どの施設にも年に一度ほどしか行けません。おもしろいように食べている様子を見ると、また来年も思っています。みなさんの笑顔に励まされて続けています」と空っぽのどんぶりに目を細めていました。

## 出張ラーメンお待ちどう!

仁井田で中華料理店を経営している秋元靖雄さん(54歳)は、市内の福祉授産所や小規模作業所にお店ごと出前する出張ラーメン屋さんのボランティア活動を行っています。

「特技を生かして何かボランティア活動ができないかと考えたのがきっかけ。施設におじゃましてお店のラーメンを食べてもらって、かれこれ七、八年になりますね」と、秋元さん。現在は、毎月第三水曜日をボランティアの日と決め、十か所ほどを月替わりで訪ねています。

今月十七日は、保戸野福祉授産所を訪問。麺やスープ、ドングリのほか、大きな鍋やガスコンロも持ち込んで、お昼には十六人分のしょうゆラーメンがテーブルに並びました。

一緒にふうふう言いながら食べるラーメンに、自然と笑顔

がこぼれる授産所のみなさん。職員の工藤若子さんは、「ラーメンをこちそうしてくださいるほか、お話したり、一緒に花壇の草取りを

したり、秋元さんが来る日をみんな楽しみにしています」。

秋元さんは、「どの施設にも年に一度ほどしか行けません。おもしろいように食べている

様子を見ると、また来年も思っています。みなさんの笑顔に励まされて続けています」と空

っぽのどんぶりに目を細めていました。

## 広報クイズ⑦

答えは2月12日、26日の「広報あきた」の記事中に。

- 市内では3月18日からスタート。15歳以下のお子さんがある世帯主などに交付される券の名称は?
- 洋服やカーペットなどに形を変えて再生されています。4月から新たに分別収集を始める品目は?

応募方法 はがきに答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、3月12日(金)(必着)まで、〒010-8560秋田市役所広報課へ。☎(866)2034

前回のクイズの答えは、問1が「明治22年」、問2が「御所野(ニュータウン)」でした。全問正解114通の中から、当選した川村芳太郎さん(下浜桂根)、中嶋美穂子さん(手形字西谷地)、長沼忠雄さん(榎山登町)、三浦久美子さん(寺内字油田)、山本恵利さん(広面字近藤堰添)の5人には図書券をお送りします。

## 読者の伝言板

クイズの答えと一緒に、ほのぼのとした“ひとこと”を、お待ちしております。

例年になく大雪。毎日の雪かきの合間の晴天にホッと一息。少しは運動不足の解消になつてる!? (長谷川明美 35歳・桜)

主人と息子が玄関前に数個のミニカマクラを作りました。夜ロウソクを灯し、しばし寒さを忘れ、雪国もいいものだわ。でも春が待ち遠しい! (蛇川ヨミ子 49歳・御野場)

この冬の降雪で袋小路の除雪を心配していましたが、除雪車がよせてくれて助かりました(工藤和郎 71歳・東通)

今年はハタハタを美味しくたくさん食べられました。来年は少しハタハタを作りたい(田口照子 61歳・広面) 高校受験で本人よりまわりがピリ!!ピリ!! 早く来てほしい三月九日(鈴木幹保 15歳・新屋)

二月に入り、頭の痛い申告が始まります。一生懸命働いてかける税金ですから、清く正しく使ってほしいと念願してやみません(秋山キヨ子 65歳・旭川) インフルエenzaが流行しています。手洗い、うがいを心がけ、食事や睡眠にも気をつけるよう、家族で頑張っています(鈴木喜久美 35歳・手形山) 広報あきたを配っています。持つていくと、ありがと!! ご苦労さまと声をかけてくださるかたがたくさん。分かります、楽しい広報お願いします。待つている人たくさんいます(南野修子 37歳・泉) 敬称略!!

係からひとこと

リハビリ学級で取材した荒川さんの文集を、読ませていただきました。最初のページには、「気力、体力が許せば、階段を一步一歩はいつくばって登って行った社会復帰への記録」と記されています。

救急車で運ばれてから退院するまでの過程と、現実を自分なりに受け入れていく荒川さんの気持ちが、つぶさに読みとれました。

でも、なんだか心の大事な部分を覗き見してしまったような気持ちです。リハビリ学級の委員的存在。明るく、ユニークな荒川さんだからこそです。人間って強いなあ…。そうしみじみ感じました。

リハビリ学級のみなさん、本当にお世話になりました。(佐々木)